



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第77号(2010年6月30日)



## 【アブダビでのクリーン・エネルギーの取り組み】

6月9日に、アブダビ政府系機関で再生可能エネルギーなどに取り組むMasdar社が、総額6億ドルの太陽発電プロジェクトについて、フランスのTotal社、スペインのAbengoa Solar社と取り組むと発表しました。今回建設されるのは、世界でも最大級の規模の太陽熱発電所になります。なお、太陽熱発電所は太陽光発電所とは異なり、文字通り、光ではなく熱を利用したシステムです。そのため、24時間発電可能な一方で、設置には広い土地を必要とするといった特徴があります。

建設作業はこの数週間で始まる予定で、2012年の第3四半期に操業することが予定されています。発電所は、Build Own Operate(BOO)と呼ばれる、民間企業が建設、運営を行う形態で開発され、Masdar社を含む3社での合弁企業によって建設される予定です。

Masdar社は2006年4月に、再生可能エネルギー、グリーン・テクノロジーの中核となるべく、設立されました。Total社はいわゆる国際石油資本と呼ばれる会社で、Abengoa Solar社は、同じくエネルギー企業ですが、いわゆるクリーン・エネルギーに注力している会社です。2008年にはMasdar社が日本の企業と共同で太陽熱実証実験プラントの建設を行うといったニュースも出ておりましたが、残念ながら、今回のプロジェクトでは日本企業は参画していないようです。

アブダビ首長国は2020年までに電力の7%を再生可能エネルギーから発電することを計画しています。そして、今回の取り組みは、アブダビ首長国にとって、一定規模の電力を化石燃料を使わずに供給する初めての取り組みとなります。

近年太陽発電のコストは下がっていますが、それでも依然として、従来の発電方法と比べると若干のコスト高となります。その差額については、首長国政府が補填をするようです。

石油産出国アブダビでのグリーン・エネルギーの取り組みについては、今後も注目していきたいと思えます。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## 【Facebookユーザ数が新聞発行部数を上回る】

Facebookは、世界的な人気を誇るソーシャル・ネットワーキング・サービスの一つです。

ドバイの広告代理店Spot On Public Relationsの調査によれば、2010年5月の時点で、中東及び北アフリカにおけるFacebookユーザ数は、既に1,500万人を突破したそうです。一方で、同地域におけるアラビア語、英語、フランス語での新聞の発行部数は1,400万部に満たないとされており、これらの数値は、双方向性があるFacebookの人気を裏付けていると言えそうです。

たとえば、エジプトのみでも約350万人のFacebookユーザがいて、国内の最大手の新聞社の発行部数をはるかに上回っているそうです。調査によれば、保守的なサウジアラビアにおいてもFacebookは浸透しつつあり、域内では2番目にユーザ数が多い国となっています。

政治的な自由が制約を受ける社会では、公衆での言論活動の代わりに、Facebookをコミュニケーションのために使う人々も大勢いるでしょう。但し、今回の調査では、Facebookが単なるチャットで使われているのか、政治的な活動のために使われているのかといった詳細は明らかにはなっていません。

一方で、Facebookはここ暫くの間、個人情報の取り扱いのポリシーについて世間の批判を浴びており、個人情報の管理のあり方が問われているようです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## 【Sex and the City 2】

Sex and the City 2はもうご覧になりましたか？

今回、キャリー、サマンサ、ミランダ、シャーロットの4人組はアブダビへ向かったことになっていますが、実はロケ地はモロッコだったそうです。

タイトルに含まれる単語、あるいは映画のストーリーについての懸念からアブダビ、ドバイでの撮影許可が下りなかったそうですが、同様に、アラブ首長国連邦ではSex and the City 2の上映も取りやめとなったようです。

## 【カンナバーロがドバイへ】

イタリア代表のカンナバーロ選手が、ワールドカップ後にドバイのチームに移籍するそうです。

著名な選手の中東への移籍事例としては、ちょっと古い例ですが、イタリアのセリエAなどで活躍したバティストウータ選手のカタールへの移籍などが思い返されますが、他にもJリーグで活躍する外国人選手の中東への移籍の話も絶えません。

Jリーグにも頑張してほしいので、今後の選手獲得などの動きに期待しています。

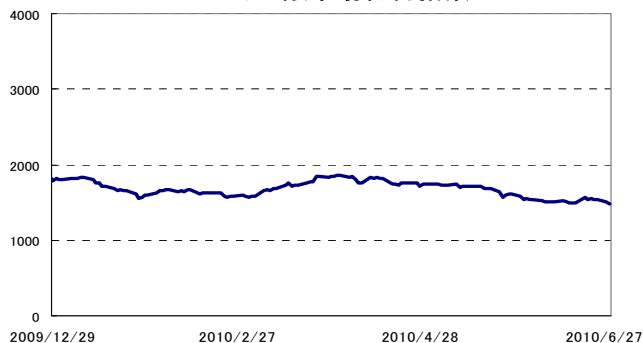


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

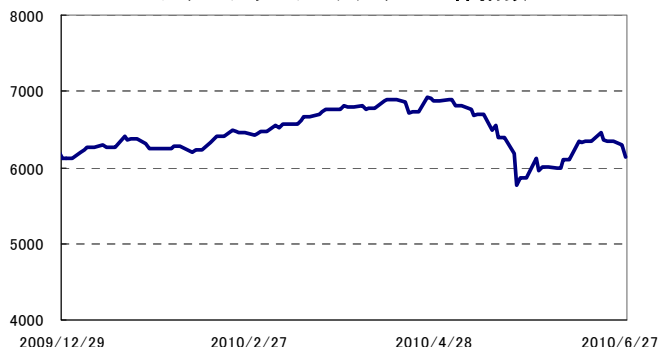


## 【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

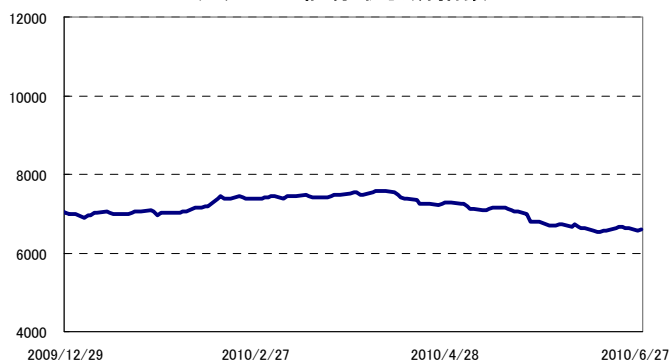
ドバイ金融市場総合指数



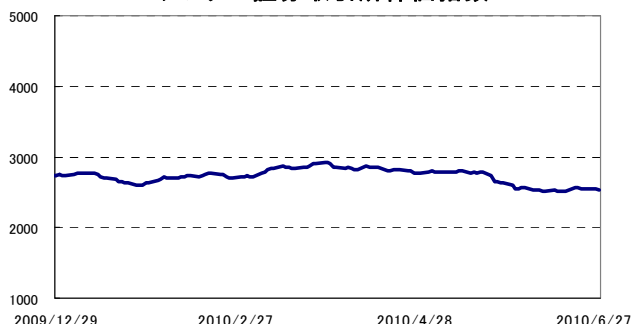
サウジアラビア タダウル全株指数



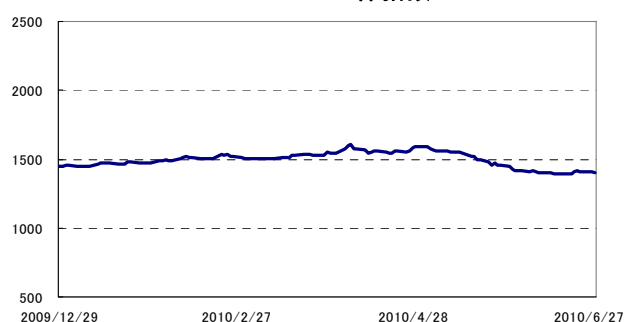
クウェート証券取引所指数



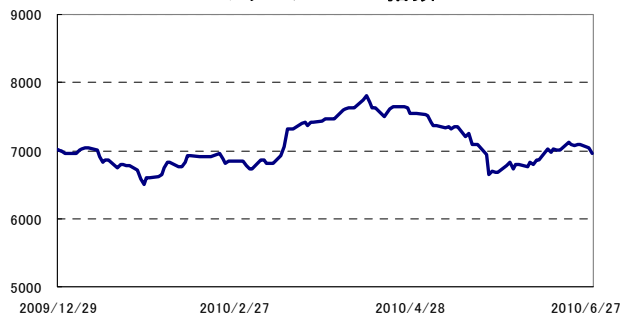
アブダビ証券取引所株価指数



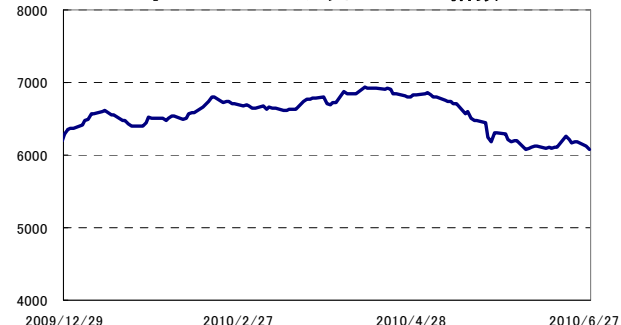
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。